



子ども大学学生新聞

第6号

子ども大学
かわごえ新聞部

地図を見る楽しさを学ぶ

布施先生の授業 江戸の風景画と地図も

七月十三日土曜日、東京国際大学第二キャンパスで、東京大学工学系研究科の布施孝志（ふせたかし）先生の「地図から学ぶ」という授業がありました。出席者は四年生三十一人、五年生五三人、六年生五六人、保護者は一〇七人、小さい子は一〇人。一時間目は「地図から学ぶ―自然と向き合う工学―」というテーマで、



（川村弘希記者写す）

標高とは何かなどを教えて下さいました。「東京湾平均海面からの高さ」標高（ひよこう）ですが、東京湾の高さといっても、高くなったり低くなったりするので、二四時間三六五日監視（かんし）し、はかっています。それから、人は、立体感を感ずることができるといふことを「みんなが大きい人だったら、上から山を見れば、立体的に見える」といっています。地形図とは、標高などが分かり、高さを等高線（とうこうせん）で表している、地面の形が分かる物です。地形図のはじまりは、明治一三年で、いろいろな約束ごとにもとづいてできています。デジタル標高地形図は、赤く青の間のグラデーションが使われていて、赤に近い色になればなるほど土地が高く、青に近い色になればなるほど土地が低いのです。低いところと高いところは、弱いし、やわらかいため、液化しやすいです。だから昔は住んではいけませんでした。川越の大都市時代の地図もおもしろかったです。

二時間目は「地図から学ぶ―江戸の景観再現―」がテーマでした。歌川広重と葛飾北斎が描いた江戸の風景画が紹介されました。二人が描いた江戸の景色は、本当のまちの姿だったのか、先生はそれを調べたそうです。

天保（てんぽう）時代の地図はゆがみがあり、それを修正した説明がありました。天保期の武家屋敷やお寺、住宅、川、江戸城の中の地図がおもしろかったです。江戸の風景画は日本橋、富士山を中心にえがかれていることも知りました。

これからは地図を見る楽しみができたと思いました。（大和日菜記者）星野学園小四年、堤友花記者）大塚小四年、石川珠里シニア記者）中学一年）

☆先生突撃インタビュー

Q どうしてこのテーマを授業に選んだのですか？

A 自分たちの住んでいる所は、知っているようでよく知らないから、知ってもらいたいと思ったからと、地図の大切さと楽しさを知ってもらいたかったからです。

Q なぜ、地図の研究を始めたのですか？

A もともと地図が好きで、江戸の地図を復元してみたかったからです。子どものころの夢はなんです。

Q スポーツ選手になりましたか？

A 運動神経がよくなかったから勉強をがんばったのよ。

Q 授業を聞いている学生のようすはどうでしたか？

A 一生懸命メモをしてくれて、話もよく聞いてくれました。（斉藤和泉記者）大塚小六年、浅野

璃子記者）杉下小五年）

☆学生の感想

◇富所夏輝君）中央小六年「地形のことや、土のやわらかさのことがよく分かりました」◇青山日向子さん）中央小六年「地形の高さを測ることについての疑問が解決しました」（河野真央記者）寺尾小六年）

◇加瀬谷光祐君）鶴ヶ島小六年「とてもわかりやすい授業でした。地図を作るときに、右目用と左目用の写真を撮って、その二つを並べてみたときに、立体に見えるのが、すごいと思った」（宮本愛音記者）鶴ヶ島小六年）

◇増田智実さん）四年「はじめて知ったことばかりで、とてもびっくりになりました。楽しかったです」◇岡田比二美さん）五年「わかりやすいじゆぎだった、せんせいがとてもいいねいだった、せんせい、おもしろい場所のみかたが、自分のみえない世界だったので、おもしろかった」（堤彩夏記者）大塚小六年）

Q 今日の日じゆぎようはどうでしたか？

A いろいろなことが、さんこうになった。もっと知りたいことはなんですか？

A デジタル地図のこと。（浅野玲子記者）杉下小五年）

◇阿部華子さん）散田小四年「自然堤防と後背湿地のちがいがおもしろかった」◇高橋あやさん）霞ヶ関北小四年「等高線や標高のことがわかりやすかったです」（増田夢実記者）名細小四年）

◇高橋亜弥さん）霞ヶ関北小四年「地図のしくみが、とてもわかりやすかったです」（小島未来記者）福原小五年）

川越市長と子ども大学

「子ども大学のまじゅうへん」 学生18人が40のおもいがい



川越市長と子ども大学かわごえとのタウンミーティング「子ども目線のまちづくり」が八月五日、市役所で開かれました。子ども大学から学生十八人が参加しました。

はじめに議会の本会議場を見学、そのあと会議室でタウンミーティングがありました。まず、川合善明市長が「川越のまちをこうしてほしい、変えてほしいという意見を、いろいろ聞かせてください」とあいさつ、学生を代表して高階北小六年の長坂星名君が「私たちの願いをひと

つでも実現してください」と述べました。学生から四〇を超える要望が活発に出されました。いくつかのやりとりを紹介します。

学生 学校にクーラーを入れてください。

市長 市でも検討していますが、お金の問題もあり実現できていません。前向きに実現する方向で検討します。もう少しお待ちください。

学生 給食でご飯のときは、牛乳ではなく、お茶を出してほしいです。

部長 牛乳は毎日飲むと、からだにいいので給食に出しています。

学生 公園が少ないので、もっとつくってください。

市長 たしかに川越市は人口一人当たりの公園面積が少ないです。なんとか他市なみに増やしたいと思いますが、お金がかかるのでね。

学生 近くに図書館をつくってほしいです。

市長 あちこちにつくるのは大変なので、図書館の代わりになるものをつくりたいと考えています。

学生 いじめ対策はどうなっていますか。

部長 いじめは許せないことであり、警察や地域の皆さんの協力に対応しています。みなさんも力を合わせて、いじめをなくすように、がんばってください。

学生 お金以外で川越にたりないものは何だと思いますか。

市長 ちょっと考えさせてください。(このあと、閉会のあいさつで)市民のためにがんばることだと思います。(理事・矢倉久泰)

(1面からつづく)

◇河野友里さん 寺尾小四年

Q 今日授業はどうでしたか？

A おもしろかったです。

Q どんな所がおもしろかったですか？

A 江戸の風景画がおもしろかったです。(十重田妃菜記者 福原小五年)

◇森真由子さん 別所小四年 「なん

で江戸時代の地図は、ゆがんでいてか、ふしぎだと思いました」

◇川口美優さん 伊草小四年 「江戸時代では、地図をつくる時、『うきよせ』をつかっていたというところが、おもしろかったです」(土田真由香記者 山田小六年)

◇佃鷹羽君 名細小六年

Q 今日授業はどうでしたか？

A 今日授業は、おもしろかったです。

Q 地図記号のことがおもしろかったです。

A 地図記号のことがおもしろかったです。

Q 今日授業は、おもしろかったです。

A 今日授業は、おもしろかったです。

◇福島佳奈さん 広谷小六年

Q 今日授業は、おもしろかったです。

A 今日授業は、おもしろかったです。

◇土田真由香記者 山田小六年

Q 今日授業は、おもしろかったです。

A 今日授業は、おもしろかったです。

◇堤友花記者 大塚小四年 「ちず

やえ、なかなかわからなかったけど、すこしだけわかりました。ひろしげ

やほくさいがかいたえは、ふじさん

☆記者の感想

や、えどじょうや、日本橋を多くかいていました。ひろしげやほくさいがかいたえが見られて、よかったです。

◇増田夢実記者 名細小四年 「昔の人は、ひくい所はやらわらかくて、えきじょうかになりやすいこと、ぎやくに高い所は、えきじょうかになりくいことが分かっていて、頭がいいし、すごいと思いました」

◇土田莉子記者 山田小四年 「何でうみをうめ立てると、ひょうこうが高くなるのかふしぎだと思いました」

◇小島未来記者 福原小五年 「建物などの詳しい外観を調べるのに必要な、全国をカバーする最も大縮尺の地図を作るには、時間がかかるし、むずかしいんだなと思いました」

☆保護者の感想

◇関口奈美さん 関口大斗君の母親
Q 今回の授業はどうでしたか？
A わかりやすかったです

Q どんなところが分かりやすかったですか？
A 画像で見れたことです。(川村弘希記者 中央小五年)

◇遠藤裕代さん 遠藤さくらさんの母親 (主婦)

Q 楽しかったことはなんですか？
A 学校でひろしげのことを学んだことがあるので、とても親しみがある。分かりやすい授業だった。

Q 学べたことはなんですか？
A 意外にうめたて地があったことが学べた。(山口航記者 中央小五年)